

戦評用紙

大会名	令和7年度 第76回山形県高等学校総合体育大会兼全国高等学校体育大会山形県予選会
-----	--

日時	2025年6月1日 14:20 ~	区分	高体連
----	-------------------	----	-----

チームA				チームB
山形中央				羽黒
82	12	1Q	26	105
	19	2Q	28	
	24	3Q	27	
	27	4Q	24	
		延長		

【戦評】

先発は山形中央(00,7,12,13,91)、羽黒(8,22,37,40,70)

1Q
 山形中央は試合の立ち上がりから#12の鋭いドライブインでディフェンスを崩し、外でもらった#12がミドルシュートを決める。2-3ゾーンディフェンスで中のディフェンスを固めるも、羽黒は#8、#22の3Pで流れを作り、山形中央はたまたまタイムアウト。山形中央#12が外から3Pも狙うが決まらず。対する羽黒は安定したマンツーマンディフェンスでオフェンスの機会を作る。ピリオドを通して3Pが安定して決まり、流れを掴んだまま1Q終了。

2Q
 羽黒は#40がスピードのあるドライブインでゴール下まで切り込み、得点を稼ぐ。体制を崩してこぼしたボールも長身の#24が逃さず掴み取りリングに収める。外からは#22が3Pを何度も決めて流れを掴む。山形中央は#7の速攻で食らいつき、#13の3Pで点差を縮める。#13がディフェンスをすり抜けゴール下まで攻め込むが、高さでシュートを塞がれなかなか点を重ねられない。そのまま点差を詰められないまま2Q終了。

3Q
 羽黒は前半に続き、マンツーマンディフェンスでプレッシャーをかける。#40に加えて、#70のドライブインでディフェンスを崩す。捌いたパスを受け取った#8、#22がシュートを沈めて点を重ねる。山形中央は後半も交代で選手を回していく。羽黒のディフェンスに苦しみつつも、#13がドライブイン、スティールからの速攻で流れを生み出す。続けて#7もミドルシュートを決める。いい流れで3Qを終える。

4Q
 両チームともに消耗しつつもスピードは健在。羽黒はやはり#40のドライブインが止まらない。#22の3Pも精度は落ちることなく決めていく。山形中央も#7の3Pで応戦。オールコートマンツーマンでバックコートからプレッシャーをかけ、羽黒を苦しめる。ディフェンスからテンポを掴み終盤で猛追するが、惜しくも点差を詰めきれず羽黒に軍配が上がった。

戦評者 北村 泰人